

第6学年 社会科学学習指導案

日時 平成17年11月1日(火) 5校時
児童 6年 男子7名 女子4名 計11名
指導者 宮古市立茂市小学校
教諭 高橋 努

1 単元名 「新しい日本の国づくりを見つめよう」

2 単元について

(1) 教材について

第6学年の社会科学の能力に関する目標は、「社会的事象を具体的に調査し、地図、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味について考える力を育てるようにする。」ことである。内容としては「(1) 我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。」とある。ここでは、「キ 大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて調べ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かること。」について学習する。日清・日露戦争を引き起こしたその当時の時代的背景や世界における日本の立場を考えてみると、この2つの戦争は、日本が世界に追いつくための1つの道であったと同時に、朝鮮半島及び中国の人々い大きな損害を与えたことにもふれることが大切である。戦争の結果、国際的地位が向上し、日本が悲願としてきた条約改正が行われ、世界的に優れた学者が活躍した時代でもある。このような外国との関わりの中で近代的な国家をつくり上げようとした日本の動きを、広い視野に立って物事を考えていく力をつけさせる単元である。

(2) 児童について

児童は6年生になり、崎山貝塚での校外学習で縄文時代の人々の生活に触れ、歴史に興味を持って学習に取り組んでいる。1学期の歴史学習では、その時代の暮らしや社会の様子を描いた資料から気づいたことを話し合い、そこからでた疑問を課題とし、調べ学習を中心に取り組んできた。まだまだ、適切な資料を見つけたり、資料から読み取ったことを簡潔に発表したりする力は不足しているが、意欲的に活動している。絵や写真等の視覚に訴える資料には抵抗なく取り組むが、グラフや読み物資料に対しては深く読み取ることができない児童が多い。本単元においては、戦争というものには興味を持ち、その実態を知り、驚きや悲しみを持つことは容易に想像できる。だが、戦争の起こった因果関係やそれぞれの国の立場や考え方に気づく児童は少ないと思われる。また、条約改正では、長い年月と多くの苦勞、2つの戦争との関連に気づくことは難しいと思われる。

(3) 指導について

本単元で扱う近代の歴史は、政治や経済の状況、国際関係、社会の変化と、そのどれをとっても複雑で急速な展開なので、児童には理解が難しい場合が多くなると考えられる。そこで、本単元では、児童の取り組みやすい資料を中心資料として導入時に提示するなど具体的な事例に基づいた学習展開を心がけたい。

本時の学習では、条約改正の経緯を調べ、日本の国際的地位の向上や国力の高まりを理解させていくが、それはこれまでの学習の復習やまとめ的な要素を多分に含んでいると考える。そこで本時では、ピゴアのノルマントン号の風刺画を導入時の中心資料とし、課題を追求していく上での資料は、これまでの学習で用いた資料を活用していきたい。補足的資料として資料集の「鹿鳴館」や教科書の「世界で活躍した日本人」の北里柴三郎・志賀潔・新渡戸稲造・野口英世を授業に取り入れることとする。

3 単元の目標

長く続いた武士の政治が終わって明治政府ができ、欧米の制度や文化を取り入れて国のしくみを整えていったことを調べ、産業の発展や憲法の制定などの近代化を進めていった経過や、その目的を理解することができるようにする。

アジアでの2度の戦争を調べて、国力をつけていった日本が国際社会の中でどのような立場になっていったのか、また、その背後で、国内での産業や社会の様子はどのようなものであったかを理解することができるようにする。

4 単元指導計画と評価規準

時数	【中・小単元名】 学習のねらい	社会的 ・意欲 ・態度	社会的 ・判断	観察・表現 ・資料活用 の技	社会的 ・理解 の知識・事象 について	評価規準	資料	
1	【オリエンテーション】 1時間 「郷土の先人の足跡を調べよう」 ・新しい時代をつくるために活躍した先人について調べ、それらの人々が力をつくした時代はどんな時代だったのか関心をもつことができるようにする。					人物クイズを解き、さまざまな分野で日本の近代化に貢献した人々に関心を持つ。	近代化に貢献した人々の業績から、それが江戸時代の何をどのように変えたのかを考えることができる。	各記念館ホームページ
1	【新しい時代の幕あけ】 7時間 「黒船が来た」 ・黒船の来航とそれに対する幕府の対応や人々の動きを調べ、鎖国が終わり、欧米各国と交易が始まっていく流れをつかむことができるようにする。					ペリーの来航と条約締結が、日本を大きく変えていくことを理解することができる。	ペリーの様子や要求を理解したうえで、自分なりの考えを説明することができる。	・ペリーの写真 ・日本人のえがいたペリー
1	「江戸幕府がたおれる」 ・開国による人々の暮らしの変化や、幕府を倒して新しい政治を目ざそうとする動きの強まりを調べ、国内外からの力によって、武士の世の中が終わっていき経緯をとらえられるようにする。					開国の影響で経済が混乱し、人々の暮らしが大きく変わっていったことをとらえることができる。	幕府が倒れた理由を多面的にとらえ、理解することができる。	・百姓一揆の件数 ・幕末の米の値段
1	「新しい政府をつくる」 ・明治政府の行った諸改革の内容を調べ、政府がどのような国づくりを目ざしたのかを考え、その特色をとらえられるようにする。					新政府の進めた改革の目的と内容について理解し、その特色をまとめることができる。	新政府の進めた諸改革について調べ、人々の願いや生活と関連付けて考えることができる。	・五箇条のご誓文 ・明治政府の仕組み
1	「西洋に追いつけ」 ・明治政府が、産業を盛んにして国を富ませ、近代的な軍隊を組織して、西洋諸国に追いつけるような国づくりを目ざしたことをとらえられるようにする。					政府が、近代工業をおこしたり、外国人技術者から進んだ技術や知識を取り入れようとしたことを、新しい国づくりと関連付けて考えることができる。	政府の制度を整え国力を強くしようとする改革について、理解することができる。	・地租改正 ・徴兵制度
1	「まちの暮らしが変わった」 ・まちの様子や人々の暮らし、学校教育の変化を中心にして、新しい時代になって西洋風のものや考え方が多く取り入れられたことをとらえることができるようにする。					絵をもとに、江戸時代との変化を具体的にとらえることができる。	文明開化の様子を前の時代からの変化という観点でおさえることができる。	・明治初めごろの東京の様子 ・学制
1	「自由民権運動が広がる」 ・西南戦争や自由民権運動の高まりについて調べ、人々が新しい政治に対してもっていた願いについて考えることができるようにする。					自由民権運動が高まった理由を考え、国民の政治に對する願いをとらえることができる。	自由民権運動に対する人々の願いについて関心をもち、せりふを考えることができる。	・自由民権運動の広がり
1	「国会が開かれる」 ・大日本帝国憲法制定までの過程を調べ、明治政府が目ざした政治のあり方がどのような形で完成していったのかについてとらえられるようにする。					憲法案の条文から、人々が求めていた政治の姿をとらえることができる。	大日本帝国憲法の特色をつかむことができる。	・大日本帝国憲法の条文 ・帝国議会のしくみ
1	【二つの戦争と日本・アジア】 5時間 「日清・日露の戦い」 ・戦争の経緯とその背景にある国際状況を調べ、日本とアジア諸国との関係の変化をとらえることができるようにする。					風刺画を読み取り、各国の意図を発表することができる。	日清・日露の戦いについて、グラフや地図をもとに、それらを関連づけて意見を述べたり、新たな資料を探そうとしたりできる。	・朝鮮をねらう三国の風刺画 ・講和条約
1	「戦争のえいきょうと朝鮮の併合」 ・日露戦争の時の国内の様子を調べるとともに、日本が朝鮮を併合するなどしてアジアへ勢力を伸ばし、それに対して抵抗があったことを理解することができるようにする。					講和条約の内容と国内への影響、アジアの国々との関係の変化を理解することができる。	日露戦争後、日本が歩んだ道と、その影響を受けた朝鮮（韓国）の人々の思いをとらえることができる。	・講和条約

<p>本時 1 1 1</p>	<p>「不平等条約を改正せよ」 ・ノルマントン号事件をきっかけにした世論の高まりの中で、条約改正が実現していった経緯を調べ、日本が国際的な地位を高め、国力を充実させていったことを理解することができるようにする。</p> <p>「産業の発達と暮らしの変化」 ・産業が急速に発達し、それともなあって人々の暮らしが向上してきたこと、その反面、深刻な公害事件が発生したり景気の変動から米騒動が起こったりしたことをとらえることができるようにする。</p> <p>「平等な社会をみざして」 ・産業の発達や暮らしが向上を背景に、差別の撤廃や女性の地位向上、普通選挙運動など、民主主義を求める運動が盛んになってきたことをとらえることができるようにする。</p>				<p>不平等条約が改正されてきた過程と、国際社会の中での日本の地位の変化との関連をつかむことができる。</p> <p>産業の発達によってもたらされた社会の変化を、多角的にとらえることができる。してきたことや、民主主義を求める運動が盛んになってきたことが分かる。</p> <p>写真などから、当時の社会の状況や人々の意識などに関心をもつことができる。</p>	<p>不平等条約が改正されてきた過程と、国際社会の中での日本の地位の変化との関連をつかむことができる。</p> <p>写真の読み取りから急激な社会の変化をとらえ、それがもたらす影響について考えることができる。</p> <p>人々が起こした運動と、社会の変化によって生じた社会問題や矛盾との関係をつかむことができる。</p>	<p>・ノルマントン号風刺画</p> <p>・製糸工場で働く女性の生活時間と食事 ・足尾銅山鉱毒事件</p> <p>・有権者数の変化 ・選挙制度の移り変わり</p>
<p>1</p>	<p>【地域で見つけた歴史を発信しよう】 1時間 ・地域に残る歴史的建造物などを調べ、歴史新聞にまとめるなどして、日本の歴史と地域との関わりへの理解を深めることができるようにする。</p>				<p>写真なども効果的に使って、調べたことや取材したことをわかりやすくまとめることができる。</p>	<p>日本の中央の歴史と対比させながら、身近な地域の歴史の流れや特色を理解することができる。</p>	

5 本時の指導

(1) ねらい

ノルマントン号事件をきっかけにした世論の高まりの中で、条約改正が実現していった経緯を調べ、日本が国際的地位を高め、国力を充実させていったことを理解することができるようにする。

(2) 評価基準と判断規準

観点 \ 判断規準	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	C：努力を要する子への支援
<p>【思考・判断】 不平等条約が改正されてきた過程と、国際社会の中での日本の地位の変化との関連をつかむことができる。</p>	<p>2つの戦争などをこれまでの学習と関連づけて、不平等条約が改正された理由を考えることができる。</p>	<p>資料や教科書から不平等条約が改正された理由を考えることができる。</p>	<p>調べる観点を明確にし、不平等条約が改正された理由を考えさせるように支援する。</p>
<p>【知識・理解】 条約改正は、日本の国力や国際的地位が高まった結果実現したことを理解することができる。</p>	<p>条約改正までの苦労や努力と国際的地位が高まった要因を理解することができる。</p>	<p>条約改正の経緯や国際的地位の高まりから不平等条約が改正できたことが分かる。</p>	<p>大切な言葉を用いながらまとめることができるように支援する。</p>

(3) 展開

(3) 展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点・支援(・)評価()	用意する資料
導 入 8 分	1 ビゴー作「ノルマントン号事件を風刺して描かれた絵」を見て、気づいたことを話し合う。 2 ノルマントン号事件の概要を知る。 ・事件の概要を知る。 ・裁判の結果について話し合う。 ・江戸時代に結ばれた不平等条約を思い出す。 ・条約が改正されるまで約50年かかったことを知る。 3 学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 不平等条約は、どのようにして改正されたのだろう。 </div>	・絵から受ける印象を発表させ、この絵が風刺している内容に気づかせる。 ・江戸時代に結ばれた条約の矛盾点を想起させる。 ・約50年かけて条約が変わったことに気づかせ、改正されたことへの課題意識を持たせる。	「ノルマントン号を風刺して描かれた絵」 「歴史年表」
展 開	4 不平等な条約が結ばれた時代背景と関連させて、どうすれば条約を改正できるか予想する。 ・日本は弱かったから不平等な条約を結ばれたのだから、強くなれば改正できると思う。 ・外国に認められる国になれば改正できると思う。 5 条約改正の要因となったと思う資料を選び、選んだ理由を書く。 6 発表し合う。 ・清やロシアに勝った日本の強さ。 ・憲法を作り、進んだ国である。 ・世界で活躍する日本人が出てきた。 ・外国からいろいろ学び追いついた。 7 まとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ノルマントン号事件をきっかけに世論が高まり、様々な努力によって、日本の国力や国際的地位が高まり、条約を改正することができた。 </div>	・日本の近代化の遅れが理由であったことに気づかせる。 ・年表で条約改正までの50年間のできごとを確かめながら資料を提示する。 ・「世界で活躍した日本人」と「鹿鳴館」については、初めて扱う資料なので説明を加える。 ・近代化に遅れていた日本が、様々な分野で欧米に追いつくような活躍をしていたことに気づかせる。 ・資料毎に書いたことを発表させ、整理していく。 ・年表と照らし合わせることで、条約改正までに長い時間がかかったことに気づかせる。 ・不平等条約が改正された要因を考えることができたか。 ・大切な言葉を用いながら、自分なりの言葉でまとめさせる。 不平等条約が改正された要因が分かったか。	「岩倉使節団の写真」 (教科書 p 76) 「東京の様子」 (教科書 p 80) 「自由民権運動の演説会の絵」 (教科書 p 82) 「大日本帝国憲法の発布式」 (教科書 p 85) 「日清口の風刺画」 (教科書 p 86) 「世界で活躍した日本人」 (教科書 p 91) 「鹿鳴館」(資料集 p 71)
終 末	8 本時学習を振り返る ・本時で初めて出てきた人物を確認する。 ・課題とまとめを確認する。 9 次時の学習を知る。 ・次は産業の発達の学習をすることを知る。	・陸奥宗光・小村寿太郎・野口英世などを教科書で確認する。 ・条約改正から学んだ日本の国力の高まりと関連づけて、次時は産業に関する学習をすることを予告する。	「八幡製鉄所の写真」

6 板書計画

3 新しい日本の国づくりを見つめよう

ノルマントン号事件の
風刺画

1886年 ノルマントン号事件
イギリス人全員無事
日本人全員水死
船長は軽い罰

不平等条約（1858年）
約50年間
条約改正（1911年）

不平等条約は、どのようにして改正された
のだろう。

予想 ・日本が強くなったから
・西洋に追いついた

岩倉使節団

文明開化

自由民権
運動

憲法発布

・西洋から学んだ

・西洋に近づいた

・近代国家になった

日清・日露
戦争

世界で活躍
した日本人

鹿鳴館

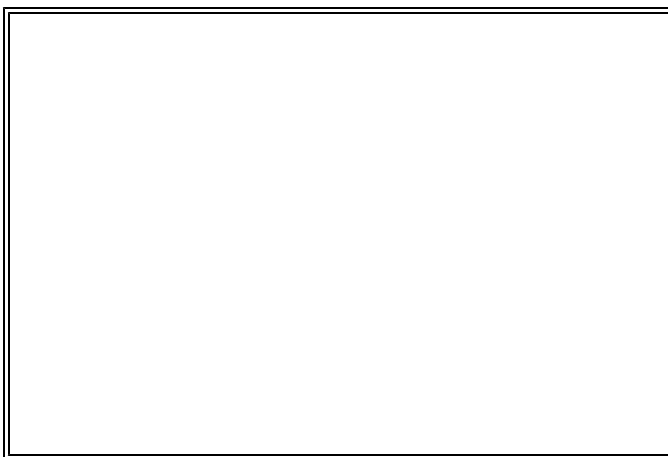
・日本の強さ

・外国に認められた

・努力してきた

様々な努力によって、日本の国力や国際的地位
が高まり、条約を改正することができた。

氏 名 _____



この絵を見て、気がついたこと、分かったこと、思ったことを書こう。

•

•

•

ノート

学習課題

予想

.....
.....

ノート

1

.....
.....
.....

2

.....
.....
.....

3

.....
.....
.....
.....

まとめ

.....